

令和7年度全建賞 推 薦 調 書
インフラ整備の事業又は施策の部(インフラの部)

実施機関名(主事業の実施機関名)	福島県双葉町
ふ り が な	ふたばえきひがしちくしょうぎょうせつけんせつこうじ そのいち
1. 事業(施策)の名称	双葉駅東地区商業施設建設工事(その1)
2. 事業(施策)実施期間(和暦)	令和6年8月22日 ～ 令和7年6月30日
災害枠で推薦の場合	(災害発生日) 平成23年3月11日 (災害名)東日本大震災
3. 事業費(工事費)	389百万円
4. キーワード	震災後、初となるスーパーマーケット整備
5. 事業概要	東日本大震災から14年が経過し、避難指示が発令された自治体で町内居住再開が一番遅い双葉町において住民の生活環境向上及び帰還促進を目的に公設民営で整備し運営されている商業施設である。

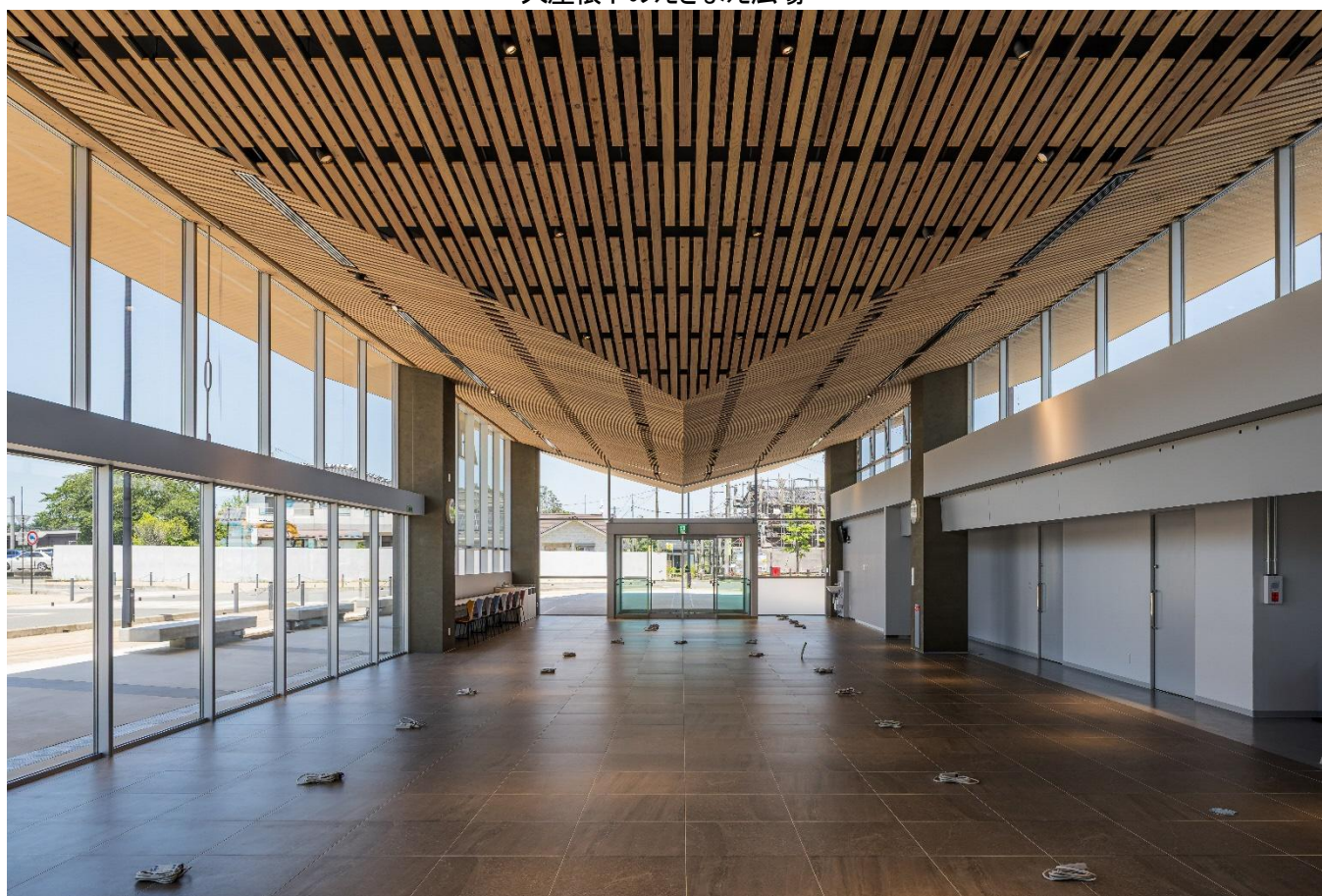
6. アピールする事業又は施策の「手段」と「秀でた成果」		
ハード or ソフトの分類 :該当する方に○印	① ハード面 に秀でた事業	② ソフト面 に秀でた取組
アピールする 1)「手段」	(a)事業連携 設計段階から入居予定者にも打合せに参加してもらい、運営目線からの意見も取り入れた。	() () () ()
アピールする 2)「秀でた成果」	(f)地域の活性化(にぎわいの創出、地域振興を含む) 大屋根広場を整備することで、住民が集まる場所を整備した。	() () () ()

7. 特にアピールしたい点
町内居住者が少なく、民設民営での整備が現実的ではない状況であり、民間事業者と連携し公設で整備し、民間運営を実施している。 これから進んでいく駅東地区の将来を見据え、最終目標としている出歩きたくなるまちづくりの一步目となるよう、大屋根広場も整備し、商業施設としての役割だけでなく、駅前に賑わいを創出し、住民が集うことができる場所にするため屋根に柱がこないよう片持ちで開放感をもたせている。

8. 事業を代表する写真及びキャプション



大屋根下のえきまえ広場



大屋根との一体感をもたせた二重天井

9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕



設計事業者を公募で選定し、設計業務中に入居者公募を実施。入居予定者を先行して決定することにより、入居希望者の要望を設計に取り込むことで営業開始後の不具合などがでないような時間軸で整備を実施。
大屋根広場を併設することで駅前に住民が集まる場所を創出し、ベンチも設置したことにより、住民同士が集まれる場所としても活用されている。

- ①規模構造:鉄骨造 地上1階
- ②建築面積:501.82 m²
- ③延床面積:299.89 m²